

競技上・審判上の注意事項

1. 本大会は2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則により行う。
ただし、1・2セットは21点、3セット目は15点取り切りの3セットマッチとする。(ジュースなし)
2. チーム構成は、部長1名、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、トレーナー1名、選手14名以内とする。ただし、選手は補欠を含め18名以内で登録を認める。試合ごとに18名の中から14名のメンバーを提出する。エントリーに変更ある場合は、受付時に会場責任者、または係に提出すること。
3. ベンチには、有効に登録された構成員のみ入ることができる。各スタッフは、必ずそれぞれのマークを左胸につけること。いずれも、マークをつけない場合はベンチに入ることを禁止する。ベンチスタッフは、統一された服装(襟付きシャツ・長ズボン)でベンチ入りすること。マネージャーが生徒の場合はその限りではない。(選手と同じ服装でないこと)
また、鳴り物・メガホン等のベンチへの持ち込みも禁止とする。
4. 公式練習中は、チーム構成員以外がフロアー及びコートに入ることを禁止する。
ただし、合同練習中については、チーム構成員以外もフロアーで隣のコートへのボールの進入を防ぐこと。(合同5分の練習の内容はフリーとする。)
5. 試合開始時間については、第一試合のみ時間設定をする。これ以降の試合については、前の試合終了から原則5分間の合同練習後、プロトコールにはいる。ただし、各チームは初めての試合のみだけ公式練習をするものとする。
6. 決勝トーナメント戦についても21点3セットマッチ。ただし、第3セットは15点とする。(いずれのセットもジュースなし)
7. 審判は補助員を含む。グループ戦で単独チームが審判をするが、主審副審は大人で行い、やむを得ない場合は生徒が副審でも可とする。
8. 各試合の設定時間は目安として70分とする。(合同練習5分含む)
(公式練習はそのチームの第一試合のみ行う)
9. 試合は追い込みで行う。時間については目安である。
10. 男子はAグループ上位2チームと、B・Cグループ上位3位チームの合計8チームが決勝トーナメント戦の出場権を得る。
各グループ戦の上位1位チームは得失セット率、得失点率の上位から順にシード権を与える。また、上位2位チームは得失セット率、得失点率の最上位を第4シードとする。
(決勝トーナメント戦のシード権のため)
女子の各グループ上位2位までのチームは決勝トーナメント戦の出場権を得る。(6チーム)
また、各グループの3位同士でグループ戦を行い、上位2チームは決勝トーナメント戦の出場権を得る。(2チーム)
女子の各グループは上位1チームで決勝リーグを行う。(決勝トーナメント戦のシード権のため)
各グループの2位、3位チームはそれぞれ順位リーグを行う。
各グループの2位グループ戦の上位1チームを第4シードとする。
11. 一日目の試合終了後、決勝トーナメントの抽選を行う。
12. 一日目の上位4チームはシードする。
13. 開始式は行う。選手は統一された服装で整列すること。
表彰式及び閉会式は順位決定戦、決勝戦に進出したチームで行う。